

8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8



人之癖十癖十冊之内
儀せし里の癖
合
冊

十返舎
勝川

~13
3896

味也堂
上



13
3896

人之癖十解十册之内

儀世重子癖

全三册

十返舎一九著

松高斎春亭画

新刊上品

合一本



人之癖十種之内困者儀せし世に癖緒言
 或儒者予ふ謂て曰。豆下達の家業は素人同く見ると
 和傳の故事。古今乃ま跡。何でも角でも知ぬといふもの
 なし。惜乎多才のもののやうか思ふはさうさうが。不佞等も同くさ
 成程間只廣さうか思ふものと。奥行のあの拙中。まもも
 持て。宜存もさうか思ふものと。世間いふ切接字文とやうに。
 其の日の志るもの。其の自らさうして。後う。野のさう
 其の。その終でも世間でいふやうもさうな事。癖のやうに
 人の先生の。いふやうに。何らうぞや。予はて曰。
 作の通り。私作の。高き。さうか思ふものと。あつた。あつた
 元。さうか思ふものと。八百屋。元。世の中。取。あつた。

117

此の書は... 著者... 偏執の癖... 十返舎一九...
 此の書は著者の... 著者の... 著者の... 著者の...
 私の癖向... 偏執の癖... 十冊を出して...
 文化癸酉端月 十返舎一九戯頭

困者様... 癪

此の書は... 著者の... 著者の... 著者の...
 著者の... 著者の... 著者の... 著者の...
 著者の... 著者の... 著者の... 著者の...
 著者の... 著者の... 著者の... 著者の...



此の書は... 著者の... 著者の... 著者の...
 著者の... 著者の... 著者の... 著者の...
 著者の... 著者の... 著者の... 著者の...
 著者の... 著者の... 著者の... 著者の...



まをどだど

さうや。あんとどうい
 ちろりの。どうぞうまぬ
 うこの。たのびらむわ
 あの目も。あつらうらま
 あり。あつらうらまの
 ひろんらうや。あつら
 ぼふいさうら。それを
 のとの。あつらうら人の
 あつらうらに。ひまわ
 のありひらま。それ
 ねと。あつらうら。あつ
 ちあつら。あつらうら。あつ
 よせらうら。あつらうら
 うげあつら。あつらうら
 はあつらうら。あつらうら
 らうらうら。あつらうら
 ちろふ。あつらうら。あつ
 はあつらうら。あつらうら



あつら
 うら
 ちろふ
 はあつら
 らうらうら

あつら
 うら
 ちろふ
 はあつら
 らうらうら

まをどだど

あつらうら。あつらうら。あつら
 うらうら。あつらうら。あつら
 とあつらうら。あつらうら。あつ
 して。あつらうら。あつらうら
 ちろふ。あつらうら。あつら
 ねと。あつらうら。あつら
 のとの。あつらうら。あつら
 のあつらうら。あつらうら
 うらうら。あつらうら。あつら
 ちろふ。あつらうら。あつら
 もあつらうら。あつらうら。あつ
 あつらうら。あつらうら。あつ
 ちろふ。あつらうら。あつら
 つらうら。あつらうら。あつら
 ちろふ。あつらうら。あつら
 あつらうら。あつらうら。あつ
 あつらうら。あつらうら。あつ
 ちろふ。あつらうら。あつら



あつら
 うら
 ちろふ
 はあつら
 らうらうら

あつら
 うら
 ちろふ
 はあつら
 らうらうら

ま...このたは...作...
このたは六が。ちかて所の
うんぢあんの内ぬ。

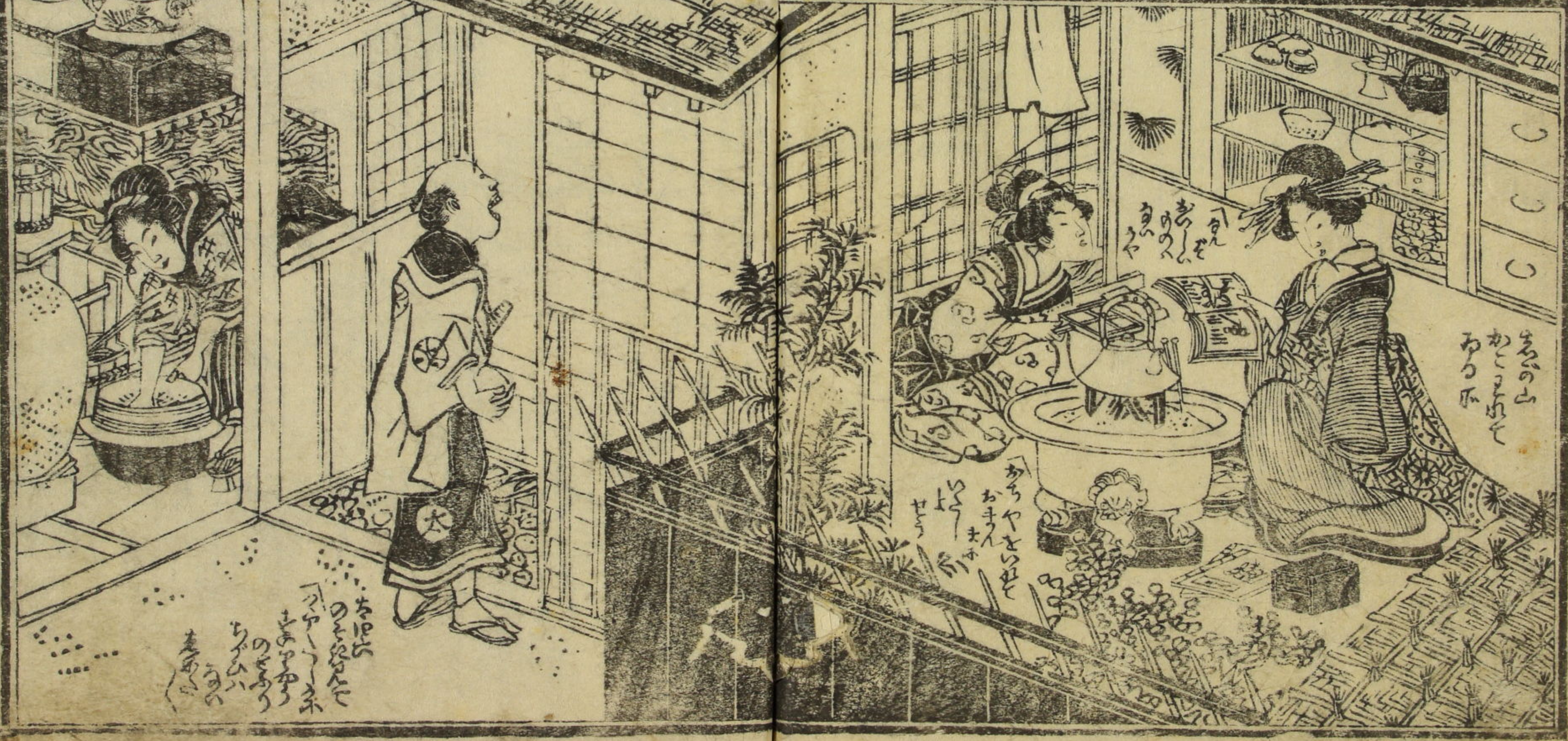


二

まぎろて。まのげ。わら。...
 つまのあのどふふ。くら...
 むのねひう。めとあいてに...
 らをこのけむり。をま...
 とて。ありあふれ。たに...
 とを。あけ。これたといん...
 う。その地。さ。ごさ...
 ち。これ入。ひた。う...
 て。ま。何。ふ...
 じ。お。あ。わ...
 ら。と。い。ん。ぎ。ん。あ。の。バ...
 ま。の。う。り。う。て。ま...
 の。お。目。う。け。れ。く。て...
 さ。り。ま。せ。ま。ぐ。く。こ。れ...
 そ。と。あ。く。ま。と。が。ん。あ。ち...
 あ。げ。よ。と。あ。う。く。ま。ち...
 ち。ま。あ。い。る。あ。い。さ。ん。あ...
 こ。ん。ぐ。猪。を。く。れ。ぬ...
 こ。ん。ぐ。あ。い。さ。ん。あ...
 あ。い。さ。ん。あ...
 ら。さ。る。ひ。の。あ。せ。い...
 ら。ら。の。い。げ。ん。を。の。れ...
 か。い。は。な。て。は。あ。い。ま。し...
 と。月。の。あ。い。さ。ん。あ...
 下。は。い。ら。る。あ。い...
 り。と。も。あ。い...
 さ。げ。て。あ。い。ま。し...
 り。と。ま。い...
 あ。い。ま。し...
 ち。



うぐいす。かみしきどももあ
 らうきりる。かんあしきく
 わんじろふとまきし。せし
 とのあまねば。あまねば
 甲あんまふふあふふふ
 ゆうりとおまきし。といふ
 ふ。そねふふふふふふふ
 まうし。くまをきく
 とた。まきし。ひらふ
 くらんふふふふ。ひらふ
 ああふふふふふふふふ
 うらふふふふふふふふ
 物。うけ。まき。ひら
 ぶん。と。や。あ。ひ。と。の
 ひらふふふひらふ。さうひ
 おう。まき。まき。まき。まき
 へ。まき。まき。まき。まき
 ちやう。ひら。ひら。ひら。ひら



九

ちやうのそと
 のそと
 まきまき
 のまき
 ちやうの
 まき

あらやま
 おまき
 まき
 まき

あまの山
 かきとゆて
 むつふ

今うしろしめしはしめて
あつても。おん身はかれ
た。きんしんをいひあ
やして。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ

ほろね。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ
あつても。おん身はかれ



うでまくりしてしまふと
 かきばまてくと大に
 大作をけをいし
 さし〜いしまでは
 人のかぢうとあひて
 けり〜くあぢ〜
 今〜まけのい
 きけバ。やけらう
 ののときにてさ
 あり〜みぢあ
 ひ〜い
 ぶの人。あ山をま
 り〜い。世持ま



「あつたつたの二かん
 ちうぢあぢあぢあ
 ろんぢあぢあ
 ちうぢあ
 わぢあ

「まぢあ〜
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ

いぢあ〜いぢあぢあ
 まぢあ〜まぢあぢあ
 よぢあ〜よぢあぢあ
 まぢあ〜まぢあぢあ
 まぢあ〜まぢあぢあ
 まぢあ〜まぢあぢあ
 まぢあ〜まぢあぢあ
 まぢあ〜まぢあぢあ
 まぢあ〜まぢあぢあ
 まぢあ〜まぢあぢあ



「れく
 さくあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ

「まぢあ〜
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ
 まぢあぢあ

あつてうんままでこの
らどきんてこのわい
うけつてうんまが
とどて終つたのまは
さめゆらうひつまや
まのまふれびとまの
なまほしやうんま
のこゆてらふまの
まはあまんとやう
まのまのまのま
あまゆあまのまのま
まのまのまのま
まのまのまのま

あつてうんままでこの
らどきんてこのわい
うけつてうんまが
とどて終つたのまは
さめゆらうひつまや
まのまふれびとまの
なまほしやうんま
のこゆてらふまの
まはあまんとやう
まのまのまのま
あまゆあまのまのま
まのまのまのま



あつてうんままでこの
らどきんてこのわい
うけつてうんまが
とどて終つたのまは
さめゆらうひつまや
まのまふれびとまの
なまほしやうんま
のこゆてらふまの
まはあまんとやう
まのまのまのま
あまゆあまのまのま
まのまのまのま



あつてうんままでこの
らどきんてこのわい
うけつてうんまが
とどて終つたのまは
さめゆらうひつまや
まのまふれびとまの
なまほしやうんま
のこゆてらふまの
まはあまんとやう
まのまのまのま
あまゆあまのまのま
まのまのまのま

女さなめり
 けしよれせ
 けしよれせ
 かんかんのせ
 まるまのせ
 ゆきまのせ
 のふえまのせ
 いちまのせ
 遠まのせ
 田舎のせ



古戦場播磨名所
 十返舎一九著
 勝川春亭画
 全六冊
 出版

十返舎一九作
 勝川春亭画

神今川小路
 二丁目
 肥田
 地

